

九州農政局長賞

かみつの

上津野村づくり推進協議会(福岡県田川郡添田町)

—子どもたちへつなぐ山里の宝—



伝統行事を子どもたちへ継承(卵のすもう祭)



夏季冷涼な気候を活かした草花生産

■ 地区・むらづくり団体の概要

上津野集落は、福岡県田川郡添田町の東部に位置する津野地域を、中津野集落、下津野集落とともに形成する豊かな自然が残された山間地域であるが、狭小農地のため生産性が低く、過疎、高齢化が進行し、このような状況を打破するため、土地基盤整備の気運が高まった。

上津野では、「物事を起こすときは心を一つにする」という風土が「山里の宝」として語り継がれてきており、協同の精神で話し合いや地区活動を重ねるうちに、土地基盤整備と併せて、農村公園や道路、給水施設等生活基盤を含めて整備することが合意され、集落全体でむらづくりを進めることとなった。

■ 主なむらづくりの取組

①農業生産面

土地基盤整備事業や中山間地域等直接支払制度を活用し、集落の水稲基幹作業の約半分を作業受託することにより、地域農業の維持、発展に努めている。

また、基盤整備後の農地で施設建設が進展し、夏季冷涼な気候を活かしたトルコギキョウ栽培等、多種多様な草花生産が拡大している。

②生活・環境整備面

生活道路拡張、英彦山源水の給水施設、子どもが遊べる親水公園、村人が集う活性化センター等、生活環境基盤の整備を進めている。

また、「収穫祭」の開催や「たんぼオーナー制度」の創設により、都市住民との交流を促進しているほか、神幸祭、卵のすもう祭、宮日祭等、地域の祭事(お宝行事)を子どもたちに継承している。

■ むらづくりの特徴

この地区では、過疎、高齢化等の問題を土地基盤整備事業や中山間地域等直接支払制度をうまく活用しながら乗り越え、むらの「安らぎ」「和」「伝統」を次代の子どもたちにつなぐ基盤づくりを行ってきた。

ここでは昔から「物事を起こすときは心をつにする」精神が受け継がれてきており、この「和」を尊ぶ風土こそが、むら一番の「山里の宝」と言える。

■ 地区データ

○所在地：福岡県田川郡添田町

○地区の規模：4集落

○総人口：227人

○総世帯数：100世帯

○農業就業人口：67人

○主要作物等：水稲、花き



整備された農地と大型機械



都市との交流活動(農作業体験)



むらの伝統をつなぐお宝行事(盆おどり)



むらの伝統をつなぐお宝行事(除夜祭)